九号台風で被害甚大！
三山は復旧に努力
台風に備える心構えが必要

台風九号は九州各地と山口県に大きな被害を残して去つた。東支那海から対馬海峡へと大きく旋回した台風九号は昭和二十四年のジュディス台風と同コースをたどり、鹿児島、長崎、福岡、山口各県は通信、交通の絶えたところが多かつた。

三池試スイ やぐら流失

長崎県にある炭労加盟の三菱高島炭鉱は、九号台風を真正面にうけ、離島にある関係上その被害は甚大なもので、共闘をともに進めた福岡（軍艦島）とゝもにカンパで救済するよう九州炭労の地方委員会で決定した。

尚三池港にある、三井三池鉱業所の試スイやぐら二基が行方不明となり、会社、組合（保安部）で〃やぐら探し〃を行い、二日後三池港より四キロ、六キロの地点で崩破しているのを発見した。

こんどの台風がその風速の割に被害が大きかつたのは、南部の九州人になれぬせいか安易に考えていた点があげられ〃台風をもつと恐れよ〃という警告だともいつている。

なお、宝クジと気象台は当らないということも被害の一つであろう。気象台が騒いでも大したことはない、といつていた人が災害にあつているから一応考えさせられる。

西鉱連三山も台風九号ではそれぞれ被害をうけ、各組合ではその対策をねるとともに復旧作業に着手している。共同デスクではその被害状態を三山とも調査してみた。

大島、緑が丘など被害甚大
通勤電車も不通

お盆とともにやつてきた台風九号は大牟田市を大きくゆさぶつて多大な被害を与えて通過した。

風の最も強かつた十七日午前三時から四時にかけてはついに炭鉱専用電力線にも一部故障をきたし停電、このため坑内ポンプの停止かと危惧されたが、直ちに非常用電力線に切替え浸水事故はまぬがれた。また緑力丘通勤列車も停電で電車不通となり一番方出勤に打撃を与えた。

海岸に近い四山大島分会、新港社宅では真向うから暴風雨を受け、特に被害は甚大で、外壁が崩れ落ち、雨が降り込むところや、屋根が吹きとび、所は所なみ飛ばされている。

緑力丘社宅は高台のためここも被害は大きく、とくにすみれ町では屋根がはがされた家があり、一晩中家の中に降り込む雨の中に不安なときを過したところもある。なお詳細な被害実態は各支部、地域分会で実地調査を行い、ちかく本部に集約されることになつている。

伊加利坑その他で応急修理

八月十七日九州、日本海を縦断した台風九号は、田川においても予想外の被害を受けた。

まず生産関係に於いて、伊加利臣揚機室の屋根がフツトビ運転不能となつた外、午前六時三十分頃、平原桟橋附近で試運転中の人車八輛が強風のため脱線転覆した。このため一番方出勤者は、通勤バスで送るという事故が起きた。

又、社宅関係では屋根の破損（瓦九八七五枚）（スレート二〇〇）外柵の倒壊四二六〇カ所、便所全壊七、半壊二、水道倒壊一五、既破損四二〇戸など、かなり多数の被害をうけた。

組合としては、早速全執行委員が実態調査を急ぐとともに、応急修理を急がせた。尚完全な修理は応急修理の終了をまつて、早速取りかゝることに決定した。

現在各資材を現地に集積、準備を急いでいる。

復舊工事急げ
山野台風被害対策委員会活動

昨年の二十二号台風の損害と比較すると、割合被害が少いと判断していたが、調査してみると直接に身近に感じる雖工事が予想以上の損害をもたらし総額一千万円以上にも達している。この予想以上の損害をもたらした台風九号の善後措置について、組合は生対部が中心となり十七日被害対策委員会を設置すると同時に、会社に申入れをなし、去る二十日第一回被害対策委員会をもつて協議し活ぱつな活動を開始した。特に組合としては一日も早く復旧工事をやらなければならないと、その促進を強くうながし、修理についても恒久的な工事を要望しお座なりな仕事では駄目であるという点を要請し、特別予算の早期解決が若し遅れるようであれば下期予算を振替えてでも早急に工事を実施するよう激しく追及した。会社は誠意をもつて復旧に努力すると確約し被害対策に就ての真剣な協議が行われた（写真上・田川社宅の倒壊したカベ中・山野社宅の吹きとんだカベと雨戸下・三池四山坑社宅のスラリと屋根もヒサシもとんだ惨状）

九月下旬に公判
五郎丸氏（三染）法廷闘争へ

三池染料労働組合の執行委員五郎丸氏に対する首切りはその後どうなつているか一先月の十二日総会を開き執行部より不当解雇を実力をもつてはねかえすというスト権確立の提案があつたが、これは一応取止め法廷闘争を中心として実力行使を除くあらゆる方法で斗うということが決定された。

組合では直ちに福岡地裁に地位保全の仮処分を申請していたが、このほどこれが正式に同地裁で受理されるにいたり、来る九月下旬に第一回公判が行われることになつた。

組合ではこのため全力をあげて会社の野望を法廷で粉砕しようと資料集めを行つており、この闘争を見守る大地評傘下の各単産も共闘態勢ができ上つている。

なお三染労組では丁度組合改選期にあたり、今月二十七日投票、二十九日開票になつている。これに対して会社は職制を通じてこの時とばかりあくまで五郎丸氏のクビ切りを成功させようと不当な干渉を始めていて、五郎丸氏失脚、組合の弱体化をねらつている。これに対して現場の組合員の間からはこの露骨な会社の態度に急激に不満の声がみなぎり、五郎丸執行委員を守れ、五郎丸氏を当選させることが団結を示す道だと呼応している。

苦闘二ヵ月
閉山をハネのけた真岡労組　田川

休山するか、会社提示の合理化案をのむか、二者択一の苦悩に満ちた交渉を二カ月の長期に亘たつて続けて来た田川地区の真岡労組では、八月二日一応「事業を継続しながら交渉で解決する」として九炭労中小対策部長、田川、方城の指導委員が山元と協力して団交を重ねた結果、盆を前にした八月十二日双方了解点にいたり、調印をとりかわした。

果敢な職場闘争によつて完全にその支配権を確立した自分達の職場を守り抜くという立場から、当面低下している出炭を正常にかえすまでは耐乏するということで交渉に終止符を打つたものである。

内容は、会社案五、五函の標作引上げを認めるが、函数賃与をつけて、実質的には組合主張の五、三函の標作に見合う賃金を獲得、出炭奨励金を、経営安定の見通しがついた時考慮する。

合理化で経営を立直し、新鉱開発鉱区拡張に努力し、事業の継続と従業員の生活安定を図る。

公認トバク反対
嘉飯地協中心にゆく

市財政の確立をねらつて、かもし出された、飯塚市オートレース設置問題は市側の裏面工作及飯治折渉の奔走に対決し、嘉飯地協を中心とする周辺の労組及革新団体が一体となりその設置より起る家庭生活に及ぼす悪影響を強く主張し反対運動を展開、いよいよ最大のヤマに直面してその行動も活発化して来たのである。一応八月六日の期限切れに、一カ月延期の中央回答があり、市側の最後の工作は益々強化されると判断されるとき対策委員会においても最後の追込みとして、市民一般及周辺への世論喚起を更に推し進めるため既に二瀬、山野両組合のニュースカーを先頭に宣伝活動、更に家庭からの呼びかけを徹底させ、二十五日には市民大会を開催する等の最後までの斗いは進められて行く。

抗議大会開く
野尻氏の不法處分で

去る二十一日、熊本鉄道管理局は国鉄労組大牟田支部長野尻氏を夏期闘争の責任者として国鉄業務妨害というかどで停職六カ月の処分を通告してきた。

国鉄熊本地本はこれに対して二十日の地方闘争委員会で職場大会や団交で抗議するほか、地本定期大会で本格的な闘争方針を打出して長期かつ広範な処分撤回闘争を展開することになつた。このため二十四日午前十時から大牟田支部では問題の荒尾駅で不法処分反対総決起大会を開いて強い盛上りをみせており、同日三池からも二ニュースカーが応援、大地評さん下からも参加、とくに四山支部では行動隊七十名が参加した。野尻委員長が経過報告を行い、処分撤回を採択して盛上りを示した。

行けドイツ派遣労働者
三池・四山　白数生

今回ドイツ派遣の事が発表になつたが、俺もつづくいま一度若かつたらなあと思う事である。

これは勿論、アメサンとわが国の人口政策の一つであると、私は思う。だが、物事はすべて表面からのみながめないで深く々々石炭を掘る心で、掘り下げて見る事が必要である。

身長一米六四以上とした事は、それ位の背がないと、向うでは子供だと思われるからである。ローマ字の読み書きの出来る者と、いう事は外国語の基礎となるからであろう。つぎに単身者としたことは、妻持ちでは、どうしても何かと不便だからである。大いに専門技術の外にも見聞を広めてもらいたい。

パーデイ等には大いに出かけて行つて、国際親善に努めて来てもらいたい。その上で向うに留まる事にでもなれば、即ちそれが民族の発展に役立つからである。この方面にも大いに働いて来てもらいたい。

中等学校以上の学力ある者としたことは、それ位の知識がないと物の理解力がないからである。

行け、われら青年、祖国の為に

お互いを知るために
山野　南荘該人

三山の共同デスクについていさゝか苦言を呈したい。斯様な企画は今更云うまでもなく当を得たものであるがそれがぽつんぽつんと忘れられた頃に行れるのでは義理にも効果的とは云えない。今回の企画は西鉱連がイニシヤチーブをとられたこと、思うがもう少し積極的にどしどしやるべきだ。かつて私の所で西鉱連は単なる連絡機関にすぎないということで、その存廃が論議されたことがあつたが私はそれは当らないと思つていたし今でも思つている。今後も存在理由が稀薄にならないように大いに活動して頂きたい。又率直にいつて三山の組合運動に強弱の両極？のあることは認めざるを得ない。併しそれが三池が強く山野、田川は弱いという論理を通用させては困る。各山には夫々異つた伝統、気風があり、いゝ面も悪い面ももつていることであろうが各山が独善的になつたり有頂点になつたりしてはいけないと思う。要は三山が統一活動をすることが重要な問題であり、それをスムースに行うにはお互いのいゝ分を素直に聞く雅量が絶対不可欠の条件だと思う。この条件を充すものは今回の様な企画が最適と私は信ずる。三山がこれを一つの討論の場としてお互いを知り得る気運を誘しだす様努力されんことを強く望みたい。編集諸賢の御奮闘を祈る。

執行部に望む
田川　本所K生

私達はいつの闘争でも痛感する事ですが、闘争が重大段階に突入したという頃から活発な情宣活動が行われます。つい先日或る人が今度の賃闘は、会社が相当強硬だから永引くか、よういに片付くまいと、もつともらしい悲観した意見をもらした。そうした意見が、スト権確立にあらわれた何％かの反対票と思われる。それでは完全な統一闘争ではない。こうした事のないよう情宣は不断からやつて貰いたいものだ。

中闘に望む
田川　三坑F生

私は討論集会には出席出来なかつた。その中で討議された内容については良くしらないが、職場より出席した人たちの意見で下部の人たちが今どう云う事を考えているか中闘はよくわかつた事と思う。中闘はこの意見、要望を基礎として、単なる机上プランでなく、私達の意見、要望を十分かして貰いたい。でないと単なる幹部闘争と云い批判と、中闘に対する不信を深めるであろう。

ひとと世間日記

○八月十六日　アメリカの兵隊が福岡の百道海岸でお盆の精霊舟西方丸を次々と信者の目の前でこわして大騒ぎ。兵隊の大半はルンペンであるというのが資本主義での常態。ルンペンは兵営に入るか監獄に入るかの境目をうろついている。そんなものをなくするのが労働運動の使命。

○八月十七日　増原防衛庁次長、防衛六カ年計画を見てもらいにアメリカに行かねばならん。一万人の増員より兵器を作れ、と業者の要求、ソレはアメリカがきいてくれます力。兵器を作つて備けようと考えて結んだ安保条約、アメリカは中古兵器を日本に売ろうと思つて結んだのでした。増原氏よなげけー忠ならんと欲すれば孝ならずーと。

通産省、出炭計画練りなおす？何、それは計画じゃなくて、私利私欲の出炭抑制と出炭増の合計。

○八月十八日　防衛庁までが調達白書。こうなれば「白書」の信用もへツタクレもない。マル秘づくめの臨時軍事費よりもまし？ソレはネ、生産性向上運動のようにネ、民主々義のツラをよそおうて、人々をギマンする手ですよ。調達白書の歯の浮くような白々しい弁解をみよ。白書というのもここまでダラクすると五十年代の神話か。

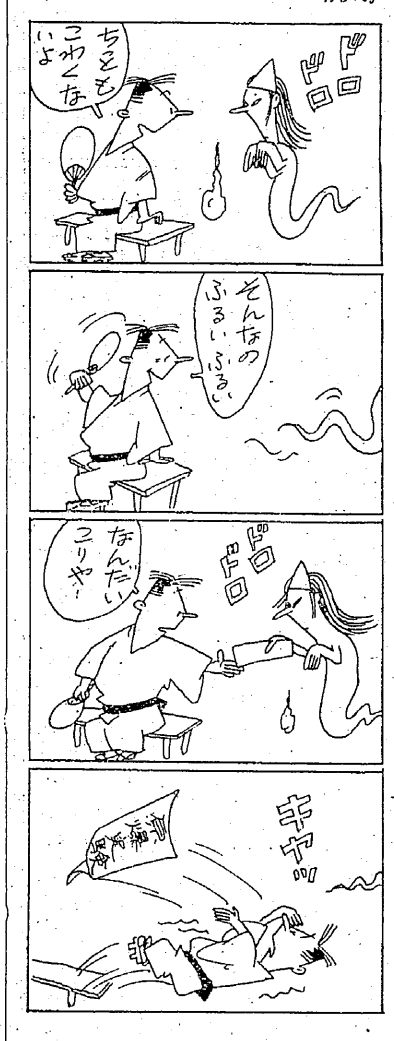
○八月十九日　くり返して生産性向上についていう。毎日新聞の社説、国鉄大会での「反対」について「生産性向上運動は新しい時代の要請、問題はそれによる労働者の不利益な事態を防ぎ、条件を改善することが必要なのである」と説く。論説子よ、それを離がするというんでス？　ひとを川の中につき落し、それを今度は救つてやつて、人名救助のホービをという論法。

○八月二十日　農民の米食率が戦前とくらべ一五％減り、この頃では主食のうち七五％が米、その代り麦がふえ、蛋白もやゝふえて食生活が改善されてきたと聞く。よいことだ。同様のことが都市の電気、石油、自動車などの利用度の向上についてもよいことだ、しかしそれでも世の中は明るくない。改善とか向上という事実が一部の人に限られているからだ。

○八月二十一日　どんな政府にも根本では与党的態度をとるのがいわゆる商業新聞である。防衛庁設の乱発をいましめる社説を書けばそれがよい政治への指針を示したように考えてゴザル。防衛庁なんて国費を乱費するのが本質であるのに。軍隊を認めて乱費させないようすることはデキン。

○八月二十二日　太陽族映画から青少年を守るのは家庭と学校の責任であつて、法律で取締るな、これも商業新聞の意見。映画の官僚統制をおそれた堂々たる意見のようにみえますがネエ。ツマらん映画を見せるために作る商魂を許せそして見るな、という。先生や父兄に責任をかぶせておけば議論はやさしかろう（九大　奥田八二）

成功は自分のせいにしたがり、失敗は他人のせいにしたがる



▲みんなが云いたい事をみんなが聞くべきだ▲一口が人生を明るくする▲天性は苦労の中から